


# JA足利 営農情報 6月号

## 麦あと水稻の栽培ポイント

### 1. 田植えまでの作業ポイント

麦の収穫後	耕起	施肥	代かき	田植え
カッターで麦わらを15cm程度にカット 土づくり肥料の散布 (ケイカル、ようりん)	耕深 15cm以上を目標にゆっくり耕起して麦わらをすき込み	※麦わらすき込みの場合は窒素成分で1~2kg/10a増	麦わらの浮き上がりを抑えるため極浅水で1~2回がけ。丁寧に行うことにより水持ちが良くなり、除草剤の効きが向上する。	

#### 【 注意点 】

水持ち及び除草剤の効果向上のため、代かきはスピードを落として丁寧に行いましょう。

※麦わらすき込み開始後3年間は、わらの分解促進のため、基肥施肥量の窒素成分を増肥します。

ただし、コシヒカリなどは倒伏の恐れがあるため増肥はしません。

#### ○品種別の基肥施肥量

品種名	肥料名 (例)	基肥施肥量 (kg/10a)	備 考
あさひの夢	JA足利あさひの夢専用肥料 (12-12-12)	50~60	追肥 (穂肥) を省略でき、品質向上に繋がります。
とちぎの星	BBとちぎの星専用ひとふりくん (12-12-12)	35~40	追肥 (穂肥) を省略でき、良食味生産に適します。とちぎの星の生育に合わせ、緩効性成分の溶出が早い肥料です。倒伏が見られる圃場では施肥量を減らしましょう。
にじのきらめき	JA足利あさひの夢専用肥料 (12-12-12)	60~70	追肥 (穂肥) を省略でき、品質向上に繋がります。
コシヒカリ	ひとふりくんプレミアム2号 (5-14-14)	60	基肥、穂肥に加え、土づくり肥料である苦土を3%、ケイ酸を10%含むので、省力的で良食味生産に適します。
	BB-F850 (基肥専用) (8-25-20)	20	窒素成分が抑えめで、りん酸、加里が多く良食味生産に適します。また、鉄分を含み土壌中の有害ガスから根を守ります。追肥はBBNK-202を10kg程度施用しましょう。
飼料用米 (夢あおば)	BB飼料米専用211 (20-10-10)	40	追肥 (穂肥) を省略できます。土壌診断に基づき、りん酸・加里が十分な圃場で使用して下さい。 ※1袋15kgなので施肥量に注意して下さい。
土壌改良肥料	ようりん	40~80	分けつが増え、茎葉が固くなり、病害虫に強くなります。
	ケイカル	120~200	光合成促進・耐倒伏性向上

※圃場の地力、土壌分析結果によって、基肥や土壌改良施肥量の増減をして下さい。

※秋落ち田ではケイカル、ようりん等の土壌改良資材を施用しましょう。

## 2. 斑点米カメムシ類防除のポイント

近年、イネカメムシによる不稔被害、イネカメムシを含むすべての斑点米カメムシ類による斑点米被害が発生しています。

カメムシ類の対策は除草が基本です。水田周辺のイネ科雑草の結実を長期間抑え、カメムシ類の水田への侵入を防ぐため、水稻の出穂2～3週間前と出穂期頃の2回除草を行いましょう。

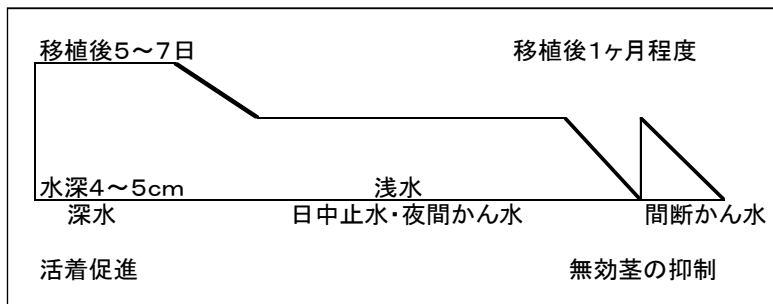
また、薬剤による本田防除は出穂期頃と、出穂期から7～10日後の2回防除が有効です。

その後も斑点米カメムシ類が見られる場合は、7～10日間隔で3回目の防除を行いましょう。箱施用剤と併せて防除するとより高い効果が期待できます。

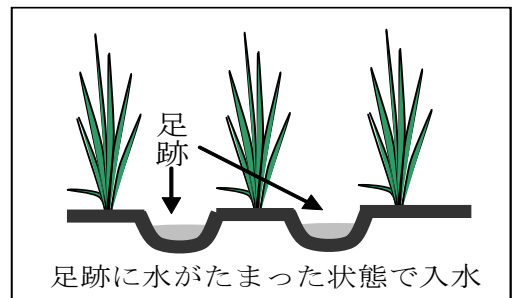
## 3. 水管理のポイント

- (1) 田植後5～7日までは、5 cm程度の深水で活着を促進します。その後は浅水管理にします。
- (2) 田植後1か月程度で必要茎数（1株当たり20本程度）が確保できたら間断かん水または品種や生育量に応じた中干しを行いましょう。
- (3) 麦わらをすき込んだ圃場は、麦わら分解時にガスが発生して水稻の初期生育に影響を与えることがあるため、早めに（田植後25日頃から）間断かん水に切り替えてガス抜きを行って下さい。

### ○水管理のイメージ



### ○間断かん水の方法



## 4. 水田除草のポイント

- (1) 除草剤の効果を安定させるため、散布後1週間は落水してはいけません。（止水管理）
- (2) 多年生難防除雑草が増えた場合、発生期間が長いため、効果のある薬剤を選びましょう。
- (3) ノビエが残った時は、クリンチャー1キロ粒剤・クリンチャーEW、またはヒエクリーン豆つぶ250等の薬剤を散布します。
- (4) ノビエ、広葉雑草が残った時は、ツイゲキ豆つぶ250（ホタルイ・クログワイ・オモダカ等）、レプラスギアジャンボ（クログワイ・ホタルイ・コナギ等）等の中期剤を使用します。またはアトトリ豆つぶ250（オモダカ・クログワイ等）、アレイルSC（オモダカ・クログワイ・クサネム等）も有効です。

※農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

※雑草の生育が進むと除草剤の効果が劣ります。発生初期に防除しましょう。

◎詳しくは安足農業振興事務所 経営普及部（TEL 0283-23-1431）、JA足利営農指導員・営農相談係・TACにご相談下さい。